

2018年度 沖縄カトリック小学校 教職員アンケート集計結果

(29名中29名分)

(評価) A: そう思う B: ややそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない

	内 容	評 価			
		A	B	C	D
1	日々のお祈りや聖歌、宗教的行事などを大切にしていますか。	25	3	1	0
2	教職員の資質向上・授業力向上のための研修に積極的に関わっていますか。	19	10	0	0
3	子どもに、神様の恵みに感謝することの大切さや思いやり、命の尊さに気付かせるような指導を心がけていますか。	23	5	1	0
4	子ども一人一人に、あたたかい言葉をかけようと心がけていますか。	22	7	0	0
5	基礎・基本の徹底と学習内容の確かな定着を図る授業をしていますか。	17	9	0	0
6	一人ひとりの学習状況を把握し、必要な個別指導を行っていますか。	15	11	0	0
7	「活用力を育てる」ことを意識した授業作りを行っていますか。	13	11	1	0
8	基礎的な内容だけでなく、発展的な学習も授業に取り入れていますか。	12	13	1	0
9	子どもたちが、「良い姿勢」を意識するよう指導していますか。	23	6	0	0
10	集団生活に必要なきまりの大切さに気付くような指導をしていますか。	26	3	0	0
11	子どもたちが、学校内で安全に過ごせるように指導をしていますか。	24	5	0	0
12	子どもたちが、「正しい言葉遣い」ができるよう指導していますか。	17	10	2	0
13	あいさつがしっかり出来るように指導していますか。	20	8	1	0
14	子どもたちが、真剣に清掃ができるように指導していますか。	15	12	1	0
15	学校内が、きれいな状態になるよう心がけていますか。	17	11	1	0
16	教職員同士、いつも明るく笑顔であいさつするように心がけていますか。	20	9	0	0
17	来客や電話などの際に、親切で丁寧な対応を心がけていますか。	24	5	0	0

<C・Dと評価された項目について、改善策等を書いてください。>

- キリスト教の教えについて深く学ぶ (3)
- チェックの機会を増やす (6)
- 基礎・基本をしっかり身につける指導を心がける (7)
- その都度、正しい言い方を確認させる (12)
- 机間巡視の際に、指導している (9)
- 丁寧な言葉を教えて使えるように指導をする (12)
- 来客、電話の対応を積極的にしない人がいるので、どうにかしたい。
- 教員同士の意思疎通 (言葉できちんと伝えていく) がうまくいっていないので、中々教員同士の連携がとれていないと思う。

教職員アンケート結果の考察（集計用紙参照）

①良く出来ている点

- ・項目1 3 4のA評価が多い事から、カトリック学校の教師として日頃から神の存在と子どもたちの存在を大切に考えていることが伺える。
また、項目10 11も集団生活のルール・マナーの指導と、1人ひとりの健康安全に常に配慮している姿勢が伺える。

②課題点と改善策

- ・項目5～8は、昨年同様他の項目に比べA評価が少なく、C評価がいくつかある項目である。
- ・発展的な学習を取り入れることは、基礎基本の徹底を図る低学年においては、さほど意識されていないが、学年が上がるにつれて発展的な学習を授業に取り入れていく必要がある（個々の能力の進展）
- ・校内研究テーマ「活用力を育てる」授業づくりの浸透が教員全体に図られていなかったことが考えられる。各教科とも10月の九州地区研修会で実践した研究授業の成果と課題を見直し、継続した研究テーマの追究が不可欠である。
- ・1人ひとりが主体性をもって学ぶ、アクティブラーニングを日頃の授業に取り入れる機会を増やしていくとともに、授業時間以外に必要な補習等の個別指導の時間を確保していく。家庭への協力依頼も必要である。

③項目9と12の評価について

- ・今年度の重点目標の中で「良い姿勢」は、学年や学級で意識して取り組んできた。教員の自己評価はA評価が多いが、児童アンケートと保護者アンケートは、それよりも低い結果が出た。家庭の理解と協力が必要で、双方の一致した取組が課題である。「正しい言葉遣い」においても同様である。
「言葉＝心の表れ」を子どもたちに浸透させていきたい。
- ・教師の言動が子どもたちに及ぼす影響の大きさを私たちは自覚し、子どもたちの良いお手本となるべきである。